



TITLE:

英國新聞界のコンツェルン

AUTHOR(S):

磯部, 喜一

CITATION:

磯部, 喜一. 英國新聞界のコンツェルン. 經濟論叢 1929, 28(4): 648-653

ISSUE DATE:

1929-04-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/129728>

RIGHT:

京都帝國大學經濟學會

經濟論叢

第 四 號 第 二 十 八 卷

昭和四年四月一日發行

論 叢

醫師と營業課税・・・・・・・・・・・・・・・・法學博士 神戸 正雄

マルサスの恐慌論・・・・・・・・・・・・・・・・經濟學士 谷口 吉彦

講 演

長崎の機船底曳網漁業と金融情況・・・・・・・・法學士 長谷川安次郎

說 苑

フランスの新貨幣制度に就て・・・・・・・・經濟學士 松岡 孝兒

英蘭銀行の成立及び發展過程に就て・・・・・・・・經濟學士 一谷藤一郎

大阪爲替會社の業績・・・・・・・・・・・・・・・・經濟學士 菅野和太郎

最近の諸國幣制改革の傾向・・・・・・・・經濟學士 島 本 融

雜 錄

京都府に於ける士卒の歸農商に就て・・・・・・・・經濟學士 堀江 保藏

英國新聞界のコンツエルン・・・・・・・・經濟學士 磯部 喜一

國際統計協會と國際聯盟・・・・・・・・經濟學士 菊田 太郎

英國新聞界のコンツェルン

磯部喜一

一

所謂産業の合理化は生産過程及び配給過程の經濟性を増進することを言ふ。^{*}そして今日の資本主義社會では、その直接目的が各個經濟的な經濟性増進であることは論ずるまでもないであらう。各個經濟的なる合理化は先づ、各個經濟的單位に於いて營まれる。しかし効果をヨリ大ならしむるために、自ら各個經濟的單位相互の間で協力的に營まれ見い。この意味の一つの新しい現象が戦後の獨逸で特に盛なコンツェルンの組織であるが、近着の „Die Wirtschaftskurve mit Indexzahlen der Frankfurter Zeitung“ (7 Jahrgang Heft IV, 1928) は、英國に於ける夫れを傳へてゐる。^{**}しかもそのコンツェルンの組織が、常に社會の木鐸と稱せられ、一見非營利的事業であるかの如くに思はれる新聞

界で生じてゐるのであるし、また輓近新聞の企業化の傾向激しい吾が國に對照して、吾々の興味を惹くことが尠少でない。以下、その大要を紹介するであらう。

二

英國に於ける企業集中の傾向は、近年「新聞産業」(Zeitungswirtschaft) に於いて特に速かに且つ著しく進展してゐる。そしてこれは勿論純然たる經濟的考慮から生じてきたのである。

今日英國新聞界では大小多くのコンツェルンが存在してゐるが、その中でも Rothermere, Berry 及び Inveresk の三大コンツェルンが特に對立してゐる。そして之等の三者のいづれにも從屬せず居ることは、同國新聞界で長き歲月の間に特異なる信用なり、また特殊の地位なりを確保し得たところの比較的少數の新聞雜誌に於いてのみ、始めて可能となつてゐる。この少數諸誌として、吾々は „Times“, „Manchester Guardian“, „Morning Post“, „Yorkshire Post“ 等の日

* F. Leitner, Wirtschaftslehre der Unternehmung, 1926, S. 286以下參照。

** 摘稿「コンツェルンに就いて」(本誌第二十六卷第四號)參照。

*** Dr. N. Benckiser, (London) „Die englischen Zeitungskonzerne.“

刊誌及び若干の週刊誌並びに月刊誌を擧げることが出来るやう。

Rothermere-Konzern

このコンツェルンの基礎は、Northcliffe 卿の "Evening News" 買収によつて築かれたのであつて、精密には Lord Northcliffe-Rothermere-Konzern と云ふべきであらう。同卿は生前上述の "Evening News" 以外に、今日發行部數二百萬を以て有名な "Daily Mail" を創設し、更に "Sunday Dispatch" (最初は週刊) をも統制し、一九〇五年には右三者を統一的に主宰するため "Associated Newspapers, Ltd." を設立したのである。なほ "Times" も亦曾ては同卿の掌中にあつたのだが、英國評論界に於ける特殊地位に鑑みて、特にコンツェルンから除外された。そして今日では、その自主獨立は特別の監視委員會によつて保たれてゐる。

一九二二年、以上の諸誌に對する Northcliffe 卿の實權が Rothermere 卿に譲渡するに及んで、今日の

Rothermere-Konzern は形成された。すなはち持株會社の形態をとつた主腦會社 Daily Mail Trust, Ltd.²⁾ が設立されたのである。同社の後取株 (Nachzugsaktien) の五十三パーセントは Rothermere 卿が所有してゐるが、殘餘の株式の大多數は Daily Mirror Newspapers, Ltd.³⁾ の占むるところである。と同時に Sunday Pictorial Newspapers, Ltd.⁴⁾ も亦株主として参加してゐる。⁵⁾

其後右のコンツェルンが多く地方新聞に進出するにいたつたのは、英國の地方諸都市で數多の夕刊誌を發行しつゝある Northcliffe Newspapers, Ltd.⁶⁾ を包攝したからである。かくて地方諸都市に於けるその活動は、地方新聞の有力な代表者と言つてもよゝ Berry-Konzern と當然衝突せざるを得なかつた。その一例は Aberdeen Newspapers, Ltd. を中心とする兩コンツェルンの妥協のうちに見出されるであらう。かくの如く Rothermere-Konzern は地方に於ける足場をば、既存諸誌の買収によつてつくらんとしたのである。

なほロンドンでは、Daily Mail Trust, Ltd. は Bear-

1) 最初資本 160 萬磅。Rothermere-Konzern 形成の際には 335 萬磅。

2) 公稱資本 151 萬磅。

3) 同 175 萬磅。

4) 同 155 萬磅。

5) Associated Newspapers, Daily Mirror Newspapers, Sunday Pictorial

verbhook 卿の三誌、すなはち“Daily Express,” “Sunday Express,” 及び“Evening Standard”の株主たるのである。また“Daily Express”の如きは近時屢々“Daily Mail”及びその姉妹誌特有の營業政策——懸賞人氣投票等による發行部數擴大策——をとりいてゐる。しかるに地方では、この兩コンツェルンはお互に競争してゐるのである。(このやうに、同一の諸企業が或る場所又は或る點で協力しつゝある半面、他の場所又は他の點で競争するといふことは興味ある現象である。と同時に、このことは、コンツェルンの本質が奈邊に在るかを吾々に示唆して餘りあるであらう。)*

最後に“Rothermere-Konzern”と新聞印刷の原料を供給する纖維原料及び製紙工業(Zellstoff- und Papierindustrie)との密接なる關係を見やう。先づ第一に、このコンツェルン設立者中に、製紙工場の統制者が加入してゐる。そして之等の製紙工場は、コンツェルン内部の諸誌の需要超過量のみを一般市場に提供することゝ

なしてゐる。第二に“Associated Newspapers, Ltd.”之等原料製造工場に對する持株會社たる“Anglo-Newfoundland Development, Ltd.”を支配してゐる。そして第三には、之等原料製造工場に對する投資及び金融を主として營んでゐる“Carmelite Trust, Ltd.”が“Northcliffe Newspapers, Ltd.”の大株主として、このコンツェルンと密接なる關係を結んでゐる。(附圖略)**

Berry-Konzern

このコンツェルンは“Sir W. E. Berry”と“Sir J. Gomer Berry”との諸企業を統制してゐる。その主たる會社に二つある。第一は“Allied Newspapers, Ltd.”であつて“Kulton Press, Ltd.”の解散の結果譲渡されることゝなつた諸誌のうち“マンチェスター”の“Daily Dispatch”を中心とせる所謂“Manchester group”の多數を統制してゐる。また“Allied Northern Newspapers, Ltd.”を所有してゐる。後者は“Daily Sketch and Sunday Graphic, Ltd.”⁽⁶⁾と前記“Allied Newspapers, Ltd.”

Newspapers の株式市場價格は凡そ 3600 萬磅に上る。

(6) 公稱資本金 150 萬磅。その他に社債 300 萬磅これは株式とは異り、一般に公

募された。通頁六三二頁以下參照。

前掲抽稿、此コンツェルン所屬の諸社を圖示した附圖は都合により省略した。

*
**

と一緒に共同統制を行ふと同時に、北部英國に於ける重要な地方誌に對する持株會社たるのである。(なほ之等地方誌の大多數は、一九二五年乃至一九二八年に買収したのである。)第二は一九二六年に包攝された Amalgamated Press, Ltd.¹¹⁾ である。これは凡そ百種に達する通俗定期刊行物を發行せる出版會社であるが、また製紙其他の原料製造工場に對する Berry-Konig¹²⁾ の關心を著しく擴大せしめる機縁となつた。

ロンドンでは、このコンツェルンは一九一六年に買収したところの "Sunday Times" 以外に、"Daily Telegraph" 及び取引所新聞たる "Financial Times" を所有してゐる。しかしながらこのコンツェルンの重心は、今日と雖も、地方に存するものと見なければならぬ。なほ製紙其他原料製造工場に對する關係も淺くはない。またこのコンツェルンに包攝されてゐる Kelt's Directories, Ltd. は名簿出版の第一人者である。(附圖略)

Inveresk-Konzern

このコンツェルンの主腦會社は、W. Harrison 氏の主宰する Inveresk Paper Co., Ltd.¹³⁾ である。同社は特別紙質の製品を主として生産する多くの製紙工場に對する持株會社である。新聞雜誌への進出は、要するに、製紙工場の販路として確實なる市場を保有せんがためである。そして製品の紙質の關係から、美術印刷紙を使用する一群の「高級雜誌」(Qualitätszeitschrift) に先づ注意を集中してゐる。なほ一九二八年の當初、掌中に歸した "Daily Chronicle" は、このコンツェルンとしては最初の日刊誌である。そしてこのコンツェルンの保守的な經營者が、同誌の自由主義的特徴の維持を誓言してゐることは注目しやう。最後に、Edinburgh, Leeds, Doncaster 其他の諸都市に於いて、一群の地方誌を經營してゐる。(附圖略)

英國新聞界では上述の三大コンツェルンの他には、

- 7) 公稱資本金 675 萬磅。
- 8) 一時 Rothermere-Konzern の掌中にあつた。
- 9) 1925 設立。公稱資本金 400 萬磅。
- 10) Kulton 解散の際、一時 Rothermere-Konzern に包攝されてゐたために、今日もなほ競争の相手方たるこのコンツェルンとの特殊關係を、Daily Mirror

經濟誌のコンツェルンたる Financial Newspapers Proprietors, Ltd. 其他がある。しかし之等は餘り重要でなから、こゝでは省略する。

三

以上の如き英國新聞界に於ける近時の結合運動は何に起因してゐるのであらうか。これは先づ第一に、英國「新聞産業」の収益率の高きこと、特にその増進によつて説明さるべきである。次ぎに、企業集中に基く經營費低減の利益も或る程度まで原因となつてゐる。前記 Financial Newspapers Proprietors, Ltd. の創立は、特にこの觀點から行はれたものである。

さて「新聞産業」は英國に於いて今日好況である。しかし、今後も尙今日に等しき黄金時代を常に現出し得ないであらうことは、他の多くの産業と同じく言ひ得るであらう。コンツェルンの組織と雖も、「新聞産業」の利潤を無限に増殖せしめ得るものではない。こゝに興味の深いのは「Economist」誌の言であつて、

同誌は「新聞産業」現時の好況の原因をば先づ紙價の低廉に置く。曰く、若し紙價が今日、一九二二年當時の狀態まで再び騰貴すれば如何。日刊新聞は恐らく一般に何等の利潤をもたらし得ないであらう。蓋し「新聞産業」は原料價格の騰貴にその價格をば追隨せしむることが、他の諸産業のやうにそれ程容易でないのであると。またこの點こそ、「新聞産業」に於いて縦斷的集中が強く要求される所以である。

要するに、新聞コンツェルンの嚮導觀念は營業としての新聞 (Zeitung als Geschäft) である。そこで新聞界に於ける企業集中の現象は、外形的には、夫々特色のある多數の新聞から、世人の所謂「Daily Mail」型といふ最多數の讀者層に迎合する様式への轉形となる。なほ發行部數の増大は、それだけでは、費用の増加を補ふべくもない。そして今日通俗誌の收入の三分の二は廣告料金であるからして、廣告料金の「新聞産業」に於ける重要性は自明の理となる。かくて發行部數が多いといふことは、廣告せんとする人々に時々の

及び Sunday Pictorial の諸社とに對し約してゐる。

- 11) 公稱資本金 5 萬鎊。なほ此社と Allied Newspapers, Ltd. との株式市場價格を並計すると、凡そ 2,000 萬鎊に上る。
- 12) 公稱資本金 415 萬鎊。
- 13) 公稱資本金 55 萬鎊。

廣告機關に對する注意を惹起せしめ、且つその價值を充分認識せしめ、同時に高率なる廣告料金を是認せしめる手段となるのである。

コンツェルンは斯業を獨占し得るであらうか。むしろその反對である。コンツェルン相互の競争は、個々獨立の諸誌間の夫れよりも概して激甚となるであらう。今日では *Rothemann* 及び *Berry* の二大コンツェルンは財務狀態が特に強固である。それだけに *Rothemann* 卿の企てた *Northcliffe Newspapers, Ltd.* の地方進出計畫は、やがて *Berry-Konzern* の對抗となつたが、その間の競争は漸く激甚となりつゝある。他方コンツェルンの擴大は更に續けられるであらう。そして營業的に經營される新聞は、古風の獨立不羈の諸誌の存続を困難ならしめると共に、また之等をば經濟的に虚弱ならしめ、かくして自らの膨脹を容易ならしめるのである。この點亦、新聞コンツェルンは他産業に於けるコンツェルンと何等異ならぬ。そこで若し必要となれば、益々諸誌の買占を行ひ、また採算のとれない諸誌の一時休刊をも敢えてなすであらう。最後に今日多數存在してゐるロンドンタ刊誌は、數年を出でずして、僅か三種に收縮されるであらう。